

令和4年第3回大和村議会定例会

一般質問通告一覧（9月13日 火曜日開催）

No.	1	宮田 到	
質問事項			要旨
1 集落への助成金について			1) コロナウイルス感染症により、3年間豊年祭が中止となり集落の運営資金である寄付金がありません。村から30万円の助成金をもらい助かっています。来年以降行事が再開されても、集落の人口減少や高齢世帯の増加により今までのような寄付が見込めないことから、現況の金額でなくても、毎年継続的な助成金制度はできないか。

No.	2	中井 文忠	
質 問 事 項			要 旨
1 役場窓口業務(各課)の改善について	1) 年配の方々が、役場に行くことを拒む理由は書類の記入で、年を取り目が見にくい、手が震えて字が書けない。書かなくても証明書で確認出来たら良いのではないか、また職員が代筆室は出来ないのか。		
2 マイナンバーカードについて	1) いろいろな使い道が出来るとの事で、マイナンバーカードを作っているが、メリットは何か。本村では住民票が取れるのか、保険証としていつから使えるのか。		
3 大和の園について	<p>1) 一人の入所者が園から出て歩いているのを見ました。その時の時間帯の管理はどのようになっているのか。</p> <p>2) 園の門扉が動く様子がない。以前は守衛さんが閉めていたが、門扉を閉めなくなったのは何故か。</p>		

No.	3	前田 清和	質 問 事 項	要 旨
<p>1 コロナ禍における物価高騰対策について</p> <p>2 学校管理体制について</p>	<p>1) 地方創生臨時交付金を活用した、本村独自の対策を講じるべきではないか。</p>			
	<p>1) 避難所として利用される学校の校舎、防災(台風)対策において、少し不安を感じているところである。雨戸を取り付け等の安全強化を図るべきでは。</p> <p>2) 敷地内(校庭)等の管理については、予算増額を行ない環境整備を進めるべきではないか。</p> <p>3) 児童・生徒の通学路の危険箇所のチェック体制等、実施されているのか、安全確保は守られているのか。</p>			

No.	4	市田 実孝
質 問 事 項		要 旨
1 宅地・農地の流動化促進について	<p>1) 宅地・農地転売希望者を把握し、宅地・農地銀行は検討していけないか。</p> <p>2) 村内に新築住宅地や村の基幹作物であるタンカン・スモモ園を計画購入を希望する若者世帯へ、助成金制度は検討出来ないか。</p> <p>3) 耕作放棄地に住宅用地を確保して、新たな12番目の集落を作る構想はもてないか。</p>	
2 湯湾釜・津名久間の県道沿いに休憩所や展望所の設置について	<p>1) 思勝湾を望み大和浜、津名久集落が一望できる県道沿いには、よく車を止めて歩道より思勝湾を眺めている人を見かけるが、駐車場を設置し、海沿いに展望所を計画出来ないか。</p> <p>2) 県道沿いの大蛸伝説の話を元に設置されている大型看板は、現在周りの木々に覆われつつあり、汚れて見にくくなっているが、新たに整備出来ないか。</p> <p>3) 旧県道の村境にある大型の大和村サンセットマップは、現道への設置は検討していないか。</p>	

No.	5	勝山 浩平
質 問 事 項		要 旨
1	コロナ感染支援策の強化・充実を求めて。	<p>1) 感染者は約 10 日間の療養待機を余儀なくされ、働きに出ることが出来ずに収入減に見舞われる場合もあるが、感染療養者に支援金（見舞金）や食料品・日用品支援など経済的支援策を打ち出すべきではないか。</p> <p>2) 年代別の感染者数とワクチンの接種率はどのようになっているか。</p> <p>3) 村民の回復者の中には、倦怠感や味覚症状など後遺症を訴え苦悩している方もいるが、後遺症の発症状況はどのようになっているか。また後遺症治療の支援体制強化を図るべきではないか。</p> <p>4) 4 回目のワクチン接種について、基礎疾患の対象項目を活用し、18 歳以上 60 歳未満の方の接種を推進するべきではないか。</p>
2	昆虫など生物持ち出し禁止対策の強化を求めて！	<p>1) 現行条例等の規制の網をかいくぐり、昆虫トラップでの「規制対象外種」や「規制区域外」をねらった大量捕獲による生態系への悪影響などが指摘されているが、持ち出しやトラップ設置を全面禁止するために条例等で規制の強化を図るべきではないか。</p>
3	国立公園ヒエン浜沖での海砂採取中止を求めて。	<p>(昨年 3 月 3 日議会定例会の一般質問に対して)</p> <p>1) 村の意見を記す副申書を県に提出する前に漁業者との意見交換の場を設けることを約束すると答弁しているがどのようになっているのか。</p> <p>最善の方策は採取地の分散化であり、今後は鹿児島県、奄美漁協だけでなく、採取業者に対しても採取地の分散化等について要望を行っていくと答弁しているが、どのような要望活動を行い、その結果はどのようなものであったか。</p>

No.	6	蔵 正
質 問 事 項		要 旨
<p>1 どうしたら村民の生産意欲が向上するのだろうか？</p> <p>村民が光・輝き続けるには、小さな大和村だからこそできる、村民と行政が常に共通の目標を持って取り組むシステムが必要だと思いませんか？</p> <p>2 住民目線の土木工事について</p> <p>3 本村の脱炭素及びSDGsへの取り組みについて</p>	<p>現状：・村民 → 生産 ・行政 → 宣伝・販売(まほろば館・返礼品)</p> <p>目標：・村民・行政：計画立案⇒商品開発⇒宣伝販売 ⇒再協議⇒(子供・高齢者・農林水産業従事者等)</p> <p>例：・子供たちが描いた大和の生き物Tシャツ作成・販売 (売上金で自然保護⇒子供たち：新発見・自信向上)</p> <p>・交流事業：修学旅行の誘致 ↳子供たちが観光案内⇒大和村を再発見・自信向上</p> <p>・種抜きスモモ丸ごとサンドの商品化</p> <p>・ちいばしゃとどうこねとうっわのレトルト</p> <p>・アマミノクロウサギのふんころ菓子？</p> <p>・各課・各部署からの新商品の考案・大会の開催</p> <p>課題：人材・人員の不足：職員が頑張っていないわけではない 自由な発想で協議し実践する環境(組織)がない限り現状は変わらない</p> <p>ここで質問!</p> <p>1) 新設された企画観光課の企画の部門は総務企画課の旧企画部門で忙殺され、求めている新企画に対して能力が発揮できない状況にないか。</p> <p>2) 以前に商品開発室構築の質問に対し村長答弁で人員不足の発言があったと認識しているが、そうであれば、地域おこし協力隊員の増強や民間企業との連携等、自由な発想で村民との連動を企画する組織について対策を講じるべきではないか。</p> <p>3) 合同会社「ひらとみ」を本村の総合事業会社と位置づけ企画の機能を持たせるのはどうか。</p> <p>1) 現場での行政指導に対して変化が見られない業者に対するペナルティー制度等はどのようなものか。</p> <p>1) どのような計画があるのか。</p>	